

実体顕微鏡

SZX16 (OLYMPAS)

特長

- ・高い開口数を誇るSDF対物レンズにより、これまでの実体顕微鏡では観察できなかった微小構造まで観察できます。
また、ズーム範囲7×～11.5×により、低倍の作業から高倍での細部確認まで、1台で対応可能になっています。
- ・像を劣化させる非点収差を徹底的に排除できるよう設計されており、焦点の前後でも像の崩れを少なく感じます。これにより、視野内でのピンセットを使つての作業でも針先位置をストレスなく見つけることができます。
- ・デジタルカメラDP27は最大2448×1920ピクセルの高解像度で画像を取得できる500万画素CCDを搭載。広いエリアを低倍で撮影しても細部がつぶれにくいいため、拡大しても鮮明な画像が得られます。

仕様

- SZX16 研究用高級実体顕微鏡
 - ・ズーム比：16.4（0.7×～11.5×）
 - ・接眼レンズ：10倍
- デジタルカメラ：DP27（OLYMPAS）
 - ・画素数：505万画素
 - ・最大画像サイズ：2448×1920
- ソフトウェア：DP2-BSW

設置場所

- ・基礎臨床研究棟8階共同実験室

利用料金

- ・¥200/時間

担当者

- ・川端、稲葉、鈴木（内線：2346）

